

明治26・27年における取引所設立熱

| | |
|----------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 著者 | 津川 正幸 |
| 雑誌名 | 關西大學經濟論集 |
| 巻 | 42 |
| 号 | 5 |
| ページ | 675-697 |
| 発行年 | 1993-01-27 |
| その他のタイトル | The Boom of Rice Exchange in Japan, 1893~94 |
| URL | http://hdl.handle.net/10112/13818 |

論 文

明治26・27年における取引所設立熱

津 川 正 幸

1

明治政府は、商業金融組織の近代化を企図し、銀行制度を移植するとともに、取引所制度の根幹を樹立すべく、明治元年商法司、同2年通商司を設置して、通商会社、為替会社をおこし、「資本ヲ融通運轉シテ通商会社ニ助力ヲアタエ、併テ民間ノ融通ヲ便利ニスルヲ以テ目的トシ」¹⁾。「銀行ノ性質ヲ具エ、紙幣発行ノ特権ヲ有スル金融機関」たらしめようとしたが、いずれも失敗に帰²⁾した。

やがて明治5年11月国立銀行条例を制定し、さらに同9年8月の国立銀行条例の改正、同15年2月の日本銀行条例の発布により、日本銀行の創設によって、近代的な銀行制度確立の基盤は築かれた。

しかし商業組織とくに取引所制度については、明治9年の米商会所条例、同11年の株式取引所条例によって、明治20年までには、全国で16カ所の米商会所、5カ所の株式取引所の設立開業をみたが、いずれも政府の意図した全き機能を備えた取引所ではなかった。

そのため、政府はしばしば条例を改正して取引所制度の改革に着手したが、いずれも枝葉末節の弥縫策にとどまり、その根幹からの改革をなしとげることができなかった。

明治20年5月14日公布の取引所条例、いわゆるブルース条例——それは「農

1) 明治財政史編纂会『明治財政史』第12巻 p. 332.

2) 同上 p. 334.

商務次官吉田清成氏は、時の社会情勢及取引所の状態を憂慮し、従来の漸次改良方針を放擲して断然根本よりの改良を期し、先ず顧問外人ヘルマン・ロessler氏、前銀行局長岩崎小二郎氏及伊東巳代治氏等に託して、英、米、仏、独及我国の制度等を入念に調査せしめ、更に紳商渋沢栄一、益田孝、大倉喜八郎、川崎八郎右衛門、安田善次郎、原六郎及大阪の藤田伝三郎等の諸氏に諮問、ロンドン及パリ取引所の覆轍を避け、ベルリン取引所の制度を最も完全なるものとして、遂に独に模倣せる取引所法を布かんとするに至ったのである。』³⁾といわれるように、取引所において、投機取引が過当にその範囲を逸脱するのは、取引所の組織ならびに売買取引方法に欠陥があることによるとし、投機取引を抑圧するためには現行の営利目的の株式会社組織を廃止して会員組織に変更し、売買取引を延取引・定期取引を廃止して実物取引に限定しようとした。しかしこのような取引所改造論は、現実の取引機構に対する誤まった認識があり、その実施しようとする内容が余りにも現状とかけはなれ、厳格に過ぎるところがあった為に、一方においては密売買の悪弊を惹起し、既存の米商会所・株式取引所からも激烈な反対運動をうけて取引所改造は失敗に終わった。

ちなみに、取引所条例に準拠しての取引所設立出願は9カ所あった。政府は明治20年9月1日の取引所条例施行に先だて、旧条例を無効にする為に、取引所条例施行細則を先に実施し、その第3条——農商務大臣取引所ノ設立ヲ特許シタルトキハ特許状ヲ下付スベシ——を適用して、例えば次のように、

第六号⁴⁾ 特許状

明治二十年勅令第十一号取引所条例ニ拠リ兵庫縣神戸区神戸ニ於テ神戸取引所ヲ設立スルコトヲ特許ス

明治二十年八月二日

農商務大臣子爵

土方久元 印

3) 加藤福太郎編著『取引史料——元老院會議筆記抄』p. 216.

4) 小谷勝重著『日本取引所法制史編』p. 887.

をもって、九カ所すべてに設立特許を与えて、条例施行以前に会員組織による取引所設立をうながした。しかし、東京・名古屋・新潟・金沢・大阪・大津の6カ所は未開業のままに解散し、他の3カ所のうち、神戸取引所は21年3月開業（29年9月に株式会社組織に変更）佐賀取引所は明治21年6月開業（同27年7月解散）、高岡取引所は22年6月開業（29年9月解散）はしたが、その営業成績は決して良好ではなかった。

しかし、これらの状況に直面して政府は取引所制度の改良確立の意欲を喪失したわけではなかった。時の農商務大臣井上馨は、ひとまず新・旧取引所に関する論争衝突を調停し、明治21年6月に旧取引所、米商会所の営業期限を24年7月まで3カ年間の延長を許可し、それと共に南貞助商務局次長ほか3名の調査委員を欧米に派遣して各国取引所の現状を調査研究せしめ、23年7月の帰朝をまって、その結果を取りまとめさせ、その間に旧取引所・米商会所に対しては、さらに27年6月まで向う3カ年の再度の営業延期の措置をとり、25年11月、第2次伊藤内閣、後藤象二郎農商務大臣の下で農商務省商務局の手によって取引所法案を起草し、第4帝国議会に提出し、重要修正を施した上通過して、26年3月3日、法律第5号をもって「取引所法」を公布し、10月1日から実施することになった。

ここにおいて、さきに24年4月26日公布、26年7月1日から施行された「商法」と相俟って、ようやくわが国の商業制度は法制上で一応整備されるにいたった。

2

「ブールス条例」に対する賛否両論を取り入れて折衷し、論争に終止符をうったと解釈されている「取引所法」⁵⁾と関連の勅令第74号⁶⁾（取引所ノ資本金、営業保証金、株式、手数料、積立金及売買取引ノ方法ニ関スル規程並仲買人免許料金額ノ件）

5) 小谷・前掲書p.1139～33.

6) 同上 p. 1133～34.

および農商務省令第13号取引所法施行規則⁷⁾の要点を概観すると、

1) 取引所の売買物件と場所に関しては、「取引所法」第1条・第2条において、「一種若ハ数種ノ物件」を売買することが許され、同種の物件を売買する取引所は一地区一箇所に限るとされた。

2) 取引所の組織に関しては「取引所法」第5条に、「土地商業ノ情況及売買取引スヘキ物件ノ種類ニ依リ」、会員組織または株式会社組織のいずれによるか設立者の選択に任されることになった。

3) 売買取引者については、「取引所法」第6条に規定し、会員組織にあっては仲買人および会員に限り、株式会社組織においては仲買人に限られた。また「取引所法」第12条に取引の内容について、会員は自分の計算をもっておこなう売買取引に限定され、仲買人は自分計算をもってする売買取引と他人の委託をうけて行う取引の両方を容認され、その取引に対しては仲買人が取引所に対して一切の責任をおうとされた。

4) 売買取引の種類、期限および方法に関しては、「取引所法」第18条によって、直取引、延取引および定期取引の3種類とし、その取引期限については勅令74号の第12条に、直取引は5日以内、延取引は150日以内の売買双方の約定の日限、定期取引は3カ月以内で取引所指定の限月と定められ、売買の方法については同11条によって現物・見本または銘柄による相対入札、糶糶売買によるものとし、定期取引に限り、同13条において、次の売買方法をもなしうることが容認された。

(1) 単位を定めて売買する方法

(2) 競売買をなす方法

(3) 米に限り、標準物を定めて契約をなし、取引所において予め定めた格付に従い同種品の代用受渡をおこなう方法

(4) 期限内における転売・買戻を取引所の帳簿に記載するところにより相殺する方法

7) 小谷・前掲書 p. 1134~37.

(5) 売買双方より売買証拠金を差出させる方法

5) 取引所資本金については、勅令第1・2条において、株式会社組織は3万円以上と規定し、会員組織については何等の規定も付されていない。

6) 設立手続・発起人については、取引所法施行規則第4条に、売買取引しようとする物件の各種類ごとに15人以上の地域内の商人が発起人となり、会員組織では会員または仲買人、株式会社組織では仲買人たる資格を有する者に限定された。

要するに「取引所法」は、米商会所条例・株式取引所条例の株式会社組織による方法と取引所条例の会員組織による方法の双方を折衷し、何れの組織によって設立してもよいこととし、取引所売買物件については、「一種若ハ種類ノ物件」として、米商・株式取引所条例の米および有価証券に限定したのとは異なり、取引所条例の「重要の商品公債証書証券株式等」数種の物件を掲げているのと同様である。また設立は「一地区一箇所」いわゆる取引所の「独占制」と論じられた規定であるが、旧3条例には規定されていなかった制限である。

また資本金については、米商会所条例の3万円以上を踏襲し、株式取引所条例の20万円以上（明治13年改正10万円以上）よりも軽減し、資金面では設立はより容易になり、発起人の人数も米商会所条例の10人以上、株式取引所条例の5人以上よりも、取引所条例の会員数——東京・大阪30人以上、その他の地方の15人以上の規定に近づけているが、その内容の「地区内の商人」で、15人以上の人数の二分の一以上は売買物件の営業者であることとする限定は余り厳密なものではなかったかに思われる⁸⁾。

8) 「株式会社鶴岡米穀取引所目論見書」の発起人27名の中に、職業分類では農業とされている西田川郡大山村加藤長三郎（78町歩）、加茂村尾形六郎兵衛（92.7町歩）、同加茂村秋野庸彦・秋野直吉、秋野信右衛門、秋野豊四郎の秋野一族（秋野光広名儀344.1町歩）の地主層の名が見られる。また、商人の中にも三井弥惣右衛門（80.5町歩）、真島明文（78.9町歩）、佐藤善兵衛（72.9町歩）、富樫治右衛門（69町歩）の50町歩以上地主が見られる。——資料・複製篇「五十町歩以上ノ大地主（名簿）」（大正13年農務局）——農業発達史調査会編『日本農業発達史』第7巻所収。

3

「取引所法」発布施行は、全国に株式会社組織の取引所設立のブームをひきおこした。明治・大正・昭和に設立・解散・継続された取引所数をみると第1表の通りで、旧3条例に拠る取引所数は株式会社組織24カ所、会員組織9カ所で、解散14カ所、存続19カ所であったが、「取引所法」に拠り設立された員数は、26年21カ所、27年75カ所、28年10カ所、29年12カ所、30年23カ所、31年10

第1表 年次別取引所設立解散一覧表

| | 設 立 | | | 解 散 | | | 存 続 | | |
|-------|-----|----|-----|-----|----|-----|-----|----|-----|
| | 株式 | 会員 | 計 | 株式 | 会員 | 計 | 株式 | 会員 | 計 |
| 25まで | 24 | 9 | 33 | 8 | 6 | 14 | 16 | 3 | 19 |
| 26 | 19 | 2 | 21 | | | | 35 | 5 | 40 |
| 27 | 72 | 3 | 75 | | 1 | 1 | 107 | 7 | 114 |
| 28 | 9 | 1 | 10 | 3 | 1 | 4 | 113 | 7 | 120 |
| 29 | 12 | | 12 | 3 | 3 | 6 | 122 | 4 | 126 |
| 30 | 20 | 3 | 23 | 10 | 2 | 12 | 132 | 5 | 137 |
| 31 | 8 | 2 | 10 | 12 | | 12 | 128 | 7 | 135 |
| 32 | | | | 18 | 1 | 19 | 110 | 6 | 116 |
| 33 | | | | 13 | | 13 | 97 | 6 | 103 |
| 34 | | | | 18 | 2 | 20 | 79 | 4 | 83 |
| 35 | | | | 18 | 1 | 19 | 61 | 3 | 64 |
| 36 | | | | 4 | 1 | 5 | 57 | 2 | 59 |
| 37 | | 1 | 1 | 4 | 1 | 5 | 53 | 2 | 55 |
| 38 | | | | 3 | | 3 | 50 | 2 | 52 |
| 39 | | | | 1 | | 1 | 49 | 2 | 51 |
| 40 | | | | 1 | | 1 | 48 | 2 | 50 |
| 41 | | | | 1 | | 1 | 47 | 2 | 49 |
| 42 | | | | | | | | | 49 |
| 43 | | | | 1 | | 1 | 46 | 2 | 48 |
| 44 | | | | | | | | | 48 |
| 45 | | | | | | | | | 48 |
| 大正・昭和 | 1 | 7 | 8 | 34 | 6 | 40 | | | |
| 計 | 165 | 28 | 193 | 152 | 25 | 177 | 13 | 3 | 16 |

備考：小谷勝重著『日本取引所法制史論』により作成。

カ所，37年1カ所，その後8カ所の総計193カ所であった。この取引所設立数は，第2表に見られる国立銀行数，東京第一国立銀行から京都第一百五十三国立銀行までの153行を上回る数であるが，国立銀行ではその後合併16行，鎖店7行，満期解散6行で明治32年2月までに29行減少するが，これに比して取引所の閉店・解散は，明治末年までに137カ所を数え，同期の設立数185カ所の4分の3は姿を消し僅かに48カ所が存続したにすぎない。

第2表 国立銀行数

| 年 代 | 設 立 | 累 計 |
|------|-----|-----|
| 明治6年 | 2 | 2 |
| 7年 | 2 | 4 |
| 8年 | 0 | 4 |
| 9年 | 2 | 6 |
| 10年 | 21 | 27 |
| 11年 | 68 | 95 |
| 12年 | 58 | 153 |

朝倉孝吉「^{明治前期}日本金融構造史」p.75.

明治26・7年の取引所設立熱の高揚は盛んで，一種の社会問題をひきおこした。当時の新聞の報道にその様子を散見することができるが，その一例をあげると，

〔明治26年10月27日，東京日日〕⁹⁾

設立出願九十。十九ヶ所に許可

取引所設立の出願は一の流行のごとくなり。いやしくも物品の集散，ほぼ一市場を設くるに足るの地に在りては，取引所法の発布と同時ににおいて，もしくはその前より「取引所設立熱」はようやく上騰し来たりぬ。全国各地より農商務省に出願せるもの，既に百幾十の数に達したりとの説すらありしが，実は九十箇所なり。しかしそれにしてもその数既に多きにすぐる感あれば，かの請願委員の運動は，日子の邁むとともに劇甚になりたれば，当時我社は一篇の社説を草し，懇勸忠告する所ありき。しかしてなお，その筋より懇切訓諭ありたるに拘わらず，彼等が頑然ととして都下に駐りたるの事實は，以ってその競争の熱度の高きを想見すべきなり。

この様な状況下に，農商務省は27年1月19日に局長通達をもって，各地方

9) 毎日コミュニケーションズ『明治ニュース事典』第5巻，p. 539，明治編年史編纂会『新聞集成明治編年史』第8巻，p. 475.

長官宛に、「取引所設立出願委員漫りに上京滞在禁止ノ件」¹⁰⁾を通過した。すなわち、

取引所之設立ヲ希望スル各地ハ、競テ出願委員ナル者ヲ出京セシメ、其許可ヲ受クル為メ 百方運動ヲ試ムル事全国一般習フテ俗ヲ為シ、甚シキハ一地ニシテ十数名ノ委員ヲ上京セシメ、滞在数月ニ連ル者アルニ至レリ。其徒ニ費用ヲ消耗スルコト蓋シ少ナカラス。加之ナラス、此等委員中ニハ悪漢ノ誑惑スル所トナリ、政府特別許可ノ周旋ヲ為スヘシト称シ、其報酬トシテ宜敷巨額ノ金銭ヲ騙取セラルルモノ往々有之哉之趣相聞ヘ候。

仍テ農商務大臣ハ、夙ニ小官ニ対シ、特ニ指示セラルル所有之。小官ハ右指示之趣ニ遵ヒ、客年三月以還、即チ取引所法発布ノ後ヨリ、此等委員ノ來リテ面会ヲ求ムルニ方リ、一応其ノ陳述スル旨趣ヲ聴取候上ハ、努メテ速ニ帰国可致旨篤ク諭示致來リ候得共、今以テ徒ラニ東上滞京スルノ習俗ヲ脱セス。隠然金銭詐取ノ損害ヲ蒙ル者亦之レナキヲ難保候ニ、地方良民ノ為メ取憐之至ニ候ノミナラス、施ヒテ社会ノ秩序ヲ紊リ、風俗ヲ破リ、又誣ヒテ政府ノ体面ヲ傷ケ、信用ヲ害スルノ慮モ有之、寔ニ容易ナラサル儀ニ候。

元來取引所ノ設立ニ関スル申請ハ、必ス貴官ヲ經由シテ進達スヘキモノニシテ、願人自ラ上京可致必要無之ニ付、自今貴官ニ於テ一層御配慮ノ上、右等委員ナル者漫りに上京不致、且ツ如何ナル手段ヲ以テ誘惑スル者アルモ、不当ノ金銭ハ厘毛ト雖モ決シテ支出セサル様、申請書經由ノ際ハ勿論、其他便宜之時ニ於テ、厚ク御垂示有之度候。

右農商務大臣ノ命ニ依リ及御通牒候也。

さらに、同年2月2日、農商務省訓令第7号をもって、「取引所設立発起認可申請ニ対スル意見添申ニ関スル件」¹¹⁾を地方長官に通過し、申請の場合の具体的詳査事項・意見添申事項を明示し、出願の事前検査と適正な評価をおこな

10) 小谷・前掲書, p. 1140.

11) 同上, p. 1141.

うことをうながした。すなわち、

取引所設立発起ノ認可ヲ申請スルモノアルトキハ、左ノ各項ニ対スル意見ヲ添申シテ、其ノ申請書ヲ進達スヘシ。

一、該地ニ於ケル其ノ物件ノ集散ノ数量及集散ノ状況、果シテ取引所ヲ設立シ之カ価格ヲ公定スルノ必要アルヤ否。

二、該地ニ近接セル取引所ノ作用ニ依リ、其ノ物件ノ需要供給ノ関係ヲ円滑ナラシムルニ足ラサルヤ否。

三、該地ニ取引所ヲ設立スルモ将来能ク之ヲ保続シ得ヘキヤ否。

と。おそらく地方官にあっては、訓令に示された添申事項に、当該地にマイナスとなるような否定的な意見は記述しなかったであろう。地方の行政のみならず、経済的繁栄をもたらすべき「町おこし」の為に、出来る限りの有効性を強調したにちがいない。第三項をとってみても取引所を設立して将来よく保持存続できるか否かについて、近い将来に閉鎖しなければならない様な事態を予測することができたとしても、発起出願者の熱意を拒否し得なかったであろうことが推察される。そのことは、地方の小取引所が明治30年から35年にかけて、10年足らずで解散するにいたった事例に徴して明らかである。

さて上記の局長通牒に述べられている悪漢の誑惑とか特別許可の周旋、それによる巨額の謝礼金の要求或は賄賂の授受などの事件は、当時の新聞報道記事を散見しても枚挙に遑がない。これらの事件のうち、そのなりゆきが政界におよんだ1例をあげるに止め、今は深く立ち入らないことにしよう。

先に掲げた設立出願九十、十九ヶ所に許可の記事の解説に¹²⁾「新取引所法に基づく取引所(株式会社)は企業として有利なものであった。その後の新聞広告に見る決算書などがそれを示している。それだけに出願各社は、認可権を持つ農商務省に激しい運動をした。明治二十六年十一月、第五議会の開会に際し、衆議院議長星亨に対する不信任決議案が出された。その理由の一つは、時の後藤農務商相、斎藤次官、星亨らが認可された取引所から賄賂を受けた、という

12) 前掲『明治ニュース事典』第5巻, p. 539.

ことであった。事實は招宴に出席した程度であったが、改進黨などが書きたてたため、衆院議長の品位を汚すものということが問題になった(新聞は後、有罪)。こういう事件の背景に、取引所設置認可をめぐる競争が激しかったということがあったのである。」と述べられている。

いうところの「新聞は後、有罪」に関する報道記事は、〔明治26年11月25日東京日日〕に、「収賄を報じた改進黨新聞欺訴」¹³⁾に、

星氏对改進黨新聞 私公訴判決の要旨は既に報じたり。その私訴に対する原告の要求は、毀損せられたる名譽を回復せんがために、二号活字を以て東京日日外七十九種の新聞紙に、

改進黨新聞の記事無根の広告

明治二十六年八月二日以降発兌せる改進黨新聞は、拙者に於いて全国取引所より賄賂金を収受せりとの記事を掲げ、以って拙者の名譽を毀損せしにより、告訴に及びし所、刑事裁判所に於いて、新聞紙条例第二十五条に基づき、被告人水野昌章、森善吉に対し事實の証明を許されしも、もとより無根の虚構に係るを以って、その証拠これなき故に原告を誹毀したるものなりとて、その編輯人及び發行人、印刷人たる右被告人等は、刑事上に於いては有罪の宣告を受け、民事上に於いては損害賠償の義務あるものと判決せられたり。この段あまねく広告するものなり。

星 亨

との広告文を各十五日間掲載するために、二千七百七十七円八十四錢四厘を被告より弁償すべしと云うにありしが、法廷は原告要求の大体を適当となしたれど、その要求を以って過当と認め、前号にも記せしごとく、東京日日新聞、及び日本、時事、毎日、国会、自由、報知、国民、大坂朝日、大坂毎日の十新聞へ、各一週間四号活字を以って、原告の指示せる広告文を掲載する費用を弁償すべしとは判決せられぬ。

13) 前掲『明治ニュース事典』第5巻, p. 750.

と報じている。ともあれ、「ブールズ条例」以来「取引所法」の施行、設立申請認可にかかわる一連の混乱や取引所制度の改革について、「取引所制度ヲシテ兎も角一法令ノ下ニ統括スルニ至リシハ稍称スルニ足ルベキモ、徒ニ範ヲ海外ノ例ニ模シ脚下二百余年ノ好経験ヲ等閑視シタルハ恰カモ石ヲ他山ニ採ルニ急ニシテ掌中珠玉ノ琢スベキモノアルヲ忘レタルニ類シ遂ニ当時ノ取引所ヲシテ政界ノ伏魔殿タラシムルニ至リシモノ単ニ星亨一派ノ罪ノミニ非ザラン乎」¹⁴⁾と論評する者もあったのである。

何はともあれ、当時の取引所設立熱が旺盛であったことを窺うことができる。これらの取引所の都道府県別一覧と米穀を売買取引した各取引所の27年から36年までの10年間の株主数・仲買人数増減をみると第3、4、5表のようになる。

193カ所の設立にみられる顕著な傾向は、その殆んどが株式会社組織であることである。すなわち、旧3条例に拠る33カ所のうち、株式会社24社、会員組織9カ所そのうち6カ所は未開業のまま解散、わずかに3カ所が開業をみたにすぎなかったといった状況や、あるいは大阪取引所の場合のように、発起人が多大の迷惑を蒙ったのみならず、創業に要した費用を東京・堂島2米商會所および東京・大阪・京都3株式取引所が分割負担して開業を取り止めさせたという事情にみられるように、会員組織は設立者に何等の利益をもたらさない。それに比較して、営利をもたらす株式会社組織は、既存の米商會所・株式取引所の実績第6表からも有利であることが察知できたであろうから、大勢のおもむく所は当然有利な方に傾いたであろう。

その結果、地方小取引所の濫設が出来た。株式会社組織により米穀および商品を売買取引した113カ所の取引所のうち、株主数が50名に満たなかった取引所は酒田・金沢・水口・博多・若津の5カ所しかない。ところが仲買人数をみると、50名以上の仲買人を保持した取引所は東京・大阪堂島の2カ所しか

14) 梶田藤吉著『取引所論』下巻，p.941.

第3表 都道地県別取引所一覽(明治9年~昭和16年)

| | 設 | | | 立 | | | 解 | | | 散 | | | 存続 | | | | | | | |
|-----|----|----|-----|-----|----|-----|-----|-----|-----|----|----|-----|----|----|-----|----|-----|----|-----|----|
| | 米商 | 株式 | ブルス | 米商 | 株式 | ブルス | 米商 | 株式 | ブルス | 米商 | 株式 | ブルス | | 株式 | ブルス | 株式 | ブルス | 株式 | ブルス | |
| 北海道 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 青森 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岩手 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宮城 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 秋田 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 山形 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 茨城 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 栃木 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 群馬 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 埼玉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 千葉 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 東京 | 2 | 1 | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 神奈川 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新潟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 富山 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 石川 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 山梨 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長野 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 岐阜 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 静岡 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛知 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 三重 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 滋賀 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 京都 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大阪 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 兵庫 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 奈良 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 和歌山 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 徳島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 香川 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 愛媛 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高松 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 福岡 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 佐賀 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 長門 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大分 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 熊本 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿兒島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 宮崎 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 鹿児島 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 沖縄 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 18 | 6 | 9 | 141 | 19 | 16 | 3 | 9 | 133 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |
| 累計 | 24 | 33 | 174 | 193 | 19 | 28 | 161 | 177 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 | 16 |

註：小谷重勝著『日本取引所法制史論』により作成
 米商＝米商会所条例により設立されたもの
 株式＝株式取引所条例により設立されたもの
 ブールス＝取引所条例により設立されたもの
 株式組織＝取引所法により設立された株式会社取引所
 会員組織＝取引所法により設立された会員組織取引所

第4表 年次別取引所株主数一覧(1)

| 名 称 | 資本金 (千円) | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|-----------|-------------|-----|-----------|-----|-----|-----|-----------|-----|-----|-----|-----|
| 小樽米穀 鯨肥料 | 70 | 82 | 72 | 68 | 72 | 67 | 71 | 64 | 58 | 74 | 58 |
| 函館米穀 塩海産物 | 100 | 460 | 332 | 270 | 193 | 191 | 171 | 168 | 157 | 解散 | |
| 江差米穀 鯨 | 40 | | 98 | 94 | 90 | 83 | 83 | 79 | 77 | 解散 | |
| 青森米穀 | 50 | 69 | 46 | — | — | — | 解散 | | | | |
| 仙台米穀 | 60 | 183 | 145 | 72 | 71 | 64 | 62 | 67 | 66 | 122 | 70 |
| 土崎米穀 | 35 | 68 | 68 | 46 | 49 | 49 | 10 | 解散 | | | |
| 大曲米穀 | 40 | 39 | 27 | 38 | 37 | 54 | 解散 | | | | |
| 秋田米穀 | 30 | 52 | 44 | 解散 | | | | | | | |
| 本荘米穀 | 30 | | | | 43 | 62 | 67 | 解散 | | | |
| 山形米穀 生糸 | 40 | 62 | 110 | 79 | 80 | 148 | 182 | 182 | 177 | 解散 | |
| 米沢蚕糸 絹米穀 | 35 | | | 83 | 86 | 81 | 解散 | | | | |
| 酒田米穀 | 40 | 31 | 23 | 23 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 21 | 22 |
| 鶴岡米穀 | 40 | — | 42 | 51 | 52 | 54 | 53 | 95 | 59 | 101 | 103 |
| 若松米穀 | 35 | — | 112 | 99 | 解散 | | | | | | |
| 福島蚕糸 米穀 | 35 | 114 | 120 | 119 | 114 | 114 | 107 | 102 | 127 | 113 | — |
| 水戸米穀 | 30 | 152 | 168 | — | 162 | 解散 | | | | | |
| 土浦米穀 | 30 | 129 | 116 | 114 | 解散 | | | | | | |
| 宇都宮米穀 | 40 | 133 | — | 92 | 90 | 88 | 86 | 85 | 解散 | | |
| 栃木米 麻 | 35 | 77 | 82 | 78 | 76 | 73 | 71 | 59 | 解散 | | |
| 高崎米穀 | 50 | 282 | 245 | 160 | 解散 | | | | | | |
| 前橋米穀 繭糸 | 60 | 201 | 194 | 171 | 148 | 140 | 126 | 129 | 解散 | | |
| 伊勢崎織物米穀 | 35 | | 157 | 142 | 134 | 125 | 118 | 110 | 解散 | | |
| 川越米穀 | 50 | | 105 | 87 | 81 | 81 | 81 | 81 | 解散 | | |
| 熊谷米穀 | 50 | 101 | 解散 245 | | | | | | | | |
| 佐原米穀 | 40 | 59 | 45 | 解散 | | | | | | | |
| 千葉米穀 | 40 | | 64 | 55 | 52 | 41 | | | 解散 | | |
| 東京米穀 | 100 | 248 | 178 | 224 | 285 | 361 | 347 | 332 | 331 | 317 | 288 |
| 八王子米穀 | 30 | 70 | 67 | — | 58 | 解散 | | | | | |
| 横浜米穀 | 99 | 477 | 468 | 324 | 290 | 275 | 合併 190 | 283 | 307 | 296 | 254 |
| 小田原米穀 | 40 | | 87 | — | | | | 解散 | | | |
| 新潟米穀 | 30 | 48 | 55 | 63 | 73 | 79 | 80 | 76 | 77 | 78 | 86 |
| 直江津米穀 | 30 | 95 | 92 | 88 | 86 | 81 | 86 | 83 | 78 | 166 | 158 |
| 柏崎米穀 | 30 | | | | 91 | 92 | 90 | 90 | 86 | 293 | 290 |
| 三條米穀 | 50 | 132 | 117 | 119 | 117 | 121 | 116 | 120 | 119 | 171 | 168 |
| 地蔵堂米穀 | 30 | | | | | 232 | 227 | 210 | 解散 | | |
| 五泉蚕糸 米穀 | 50 | | | | | | 97 | 93 | 84 | 解散 | |
| 長岡米穀 | 30 | 192 | 185 | 193 | 186 | 182 | 300 | 291 | 300 | 359 | 350 |

(2)

| 名 称 | 資本金 (千円) | | | | | | | | | | | |
|---------|-------------|-----|----------|----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|--|
| | | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 | |
| 新発田蚕糸米穀 | 50 | | | | 147 | 133 | 126 | 124 | 123 | 140 | 131 | |
| 富山米穀肥料 | 50 | 128 | 149 | 124 | 126 | 122 | 122 | 103 | 113 | 285 | 265 | |
| 伏木肥料外二品 | 30 | 101 | 102 | 109 | 118 | 118 | 休業 | | | | | |
| 高岡米穀 | 30 | 44 | 45 | 47 | 48 | 45 | 44 | 62 | 61 | 132 | 137 | |
| 金沢米穀 | 30 | 21 | 21 | 21 | 23 | 25 | 24 | 25 | 26 | 25 | 25 | |
| 七尾米穀 | 30 | 49 | 49 | 42 | 38 | 38 | 解散 | | | | | |
| 敦賀米穀 | 40 | 60 | 解散 58 | — | | | | | | | | |
| 福井絹糸米穀 | 50 | 143 | 223 | 103 | 193 | 177 | 解散 | | | | | |
| 三国米塩 | 40 | 58 | 64 | — | 62 | 58 | 58 | 59 | 57 | 88 | 87 | |
| 三甲府米穀 | 40 | | | 解散 76 | | | | | | | | |
| 長野米穀 | 30 | 77 | 68 | 68 | 63 | 60 | 56 | 55 | 53 | 52 | 解散 | |
| 松本米穀 | 30 | 61 | 57 | 57 | 27 | 26 | 解散 | | | | | |
| 上田繭糸米穀 | 35 | 121 | 90 | 80 | 80 | 80 | — | 解散 | | | | |
| 大垣米穀 | 50 | 111 | 109 | 106 | 130 | 135 | 142 | 156 | 162 | 677 | 607 | |
| 岐阜米糸 | 60 | 132 | 98 | 90 | 98 | 102 | 99 | 89 | 85 | 604 | 544 | |
| 静岡岡米穀 | 60 | 129 | 119 | 99 | 104 | 106 | 131 | 114 | 114 | — | 101 | |
| 浜松米穀 | 50 | 162 | 157 | 155 | 153 | 152 | 147 | 124 | 解散 | | | |
| 掛川米穀製茶 | 50 | 160 | 152 | 150 | 132 | — | 解散 | | | | | |
| 沼津米塩 | 35 | | | | 125 | 116 | 114 | 112 | 109 | 解散 | | |
| 名古屋屋米穀 | 60 | 68 | 67 | 80 | 86 | 104 | 107 | 102 | 99 | 97 | 90 | |
| 岡崎米穀 | 50 | 79 | 74 | 75 | 108 | 106 | 102 | 98 | 87 | 105 | 109 | |
| 豊橋米麦 | 45 | 133 | 127 | 114 | 155 | 193 | 187 | 193 | 187 | 176 | 198 | |
| 一ノ宮米穀 | 32 | 77 | 83 | 81 | 115 | 121 | 解散 | | | | | |
| 一半田米油 | 40 | 38 | 55 | 50 | 50 | 50 | 50 | 65 | 63 | 解散 | | |
| 西尾米穀 | 50 | | | | | 88 | 105 | 103 | 156 | — | 解散 | |
| 津島米穀 | 35 | | | | | 113 | 110 | 解散 | | | | |
| 桑名米穀 | 50 | 79 | 96 | 161 | 167 | 172 | 165 | 161 | 164 | 183 | 184 | |
| 津米穀 | 60 | 76 | 77 | 91 | 102 | 106 | 97 | 101 | 96 | 221 | 214 | |
| 四日市米油 | 60 | 130 | 112 | 105 | 150 | 143 | 136 | 122 | 134 | 151 | 161 | |
| 松坂米穀 | 42 | 65 | 62 | 54 | 52 | 56 | 54 | 42 | 38 | 35 | 174 | |
| 上野米穀 | 40 | 120 | 115 | 102 | 99 | 90 | 75 | 68 | 解散 | | | |
| 山田米穀 | 50 | 81 | 79 | 81 | 解散 | | | | | | | |
| 近江米穀 | 45 | 48 | 48 | 48 | 94 | 100 | 95 | 93 | 78 | 80 | 132 | |
| 彦根米穀 | 40 | 74 | 76 | 71 | 72 | 73 | 69 | 63 | 57 | 166 | 152 | |
| 長浜生糸米穀 | 40 | 111 | 104 | 102 | 94 | 93 | 91 | 90 | 90 | 191 | 177 | |
| 水口米穀 | 30 | | | | 27 | 38 | 43 | 33 | 23 | 28 | 解散 | |
| 京都米穀 | 60 | 36 | 77 | 72 | 82 | 70 | 75 | 74 | 62 | 92 | 162 | |

(3)

| 名 称 | 資本金 (千円) | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|----------|-------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 宮津米穀生糸縮緬 | 35 | 54 | 61 | — | 解散 | | | | | | |
| 福知山米穀 | 35 | 99 | 92 | 56 | 52 | 休業 | 116 | | | | |
| 大阪堂島米穀 | 150 | 166 | 238 | 443 | 487 | 545 | 373 | 275 | 311 | 289 | 264 |
| 堺米穀 | 40 | 89 | 66 | 111 | 209 | 276 | 208 | 162 | 103 | 149 | 433 |
| 神戸米穀株式会社 | 200 | | | 195 | 166 | 198 | 214 | 205 | 193 | 174 | 162 |
| 姫路米穀 | 35 | 67 | 60 | 52 | 50 | 85 | 89 | 73 | 68 | 57 | 53 |
| 赤穂米塩 | 30 | | 81 | 82 | 72 | 69 | 57 | 53 | 44 | 解散 | |
| 三田米穀 | 30 | | 86 | 72 | 71 | 67 | 解散 | | | | |
| 竜野米麵 | 50 | | | | 78 | 87 | 88 | 87 | 73 | 解散 | |
| 西宮米酒 | 40 | | | | | | 87 | — | 解散 | | |
| 奈良米穀 | 30 | 89 | 92 | 80 | 73 | 57 | 51 | 53 | 50 | 解散 | 52 |
| 大和米外三品 | 50 | 72 | 75 | 73 | 62 | 57 | 57 | 56 | 50 | 201 | 179 |
| 和歌山米穀 | 45 | 109 | 105 | 170 | 191 | 203 | 177 | 189 | 187 | 191 | 185 |
| 米子米綿 | 30 | 52 | 52 | 50 | 48 | 解散 | | | | | |
| 松江米穀 | 30 | 168 | 160 | 141 | 131 | 解散 | | | | | |
| 岡山米穀蘭株 | 30 | 48 | 80 | 71 | 69 | 73 | 68 | 70 | 67 | 98 | 95 |
| 津山米穀 | 50 | | | 109 | 106 | 207 | 107 | 101 | 休業 | | |
| 西大寺米穀 | 30 | | | | 67 | 73 | 52 | 38 | 解散 | | |
| 尾道米塩肥料 | 50 | 90 | 87 | 75 | 75 | 74 | 74 | 解散 | | | |
| 広島米綿 | 50 | | 138 | 88 | 90 | 94 | 97 | 94 | 92 | 96 | 103 |
| 福山米綿 | 50 | 156 | 136 | 116 | 102 | 解散 | | | | | |
| 赤間関米穀 | 30 | 25 | 27 | 33 | 32 | 35 | 32 | 78 | 81 | 84 | 91 |
| 三田尻米塩 | 30 | | | | 162 | 145 | 138 | 145 | 146 | 325 | 294 |
| 柳井津米塩 | 40 | | | | | 138 | 140 | 136 | 94 | 解散 | |
| 徳島米穀 | 30 | 29 | 32 | 29 | 50 | 84 | 73 | 79 | 76 | 186 | 解散 |
| 高松米外四品 | 50 | 153 | 139 | 128 | 113 | 107 | 102 | 79 | 77 | 解散 | |
| 坂出米塩 | 50 | 79 | 83 | 80 | 65 | 解散 | | | | | |
| 松山米穀 | 30 | 173 | 175 | 152 | 173 | 175 | 156 | 149 | 148 | 170 | 164 |
| 今治米穀 | 35 | | 114 | 88 | 64 | 64 | 58 | 55 | 63 | 解散 | |
| 高知米穀 | 50 | | | | 112 | 110 | 99 | 80 | 解散 | | |
| 高博多米穀 | 30 | 10 | 32 | 34 | 34 | — | 29 | 43 | 32 | 51 | 55 |
| 若津米穀 | 30 | 27 | 17 | 11 | 解散 | | | | | | |
| 久留米米穀 | 30 | 57 | 55 | 63 | 41 | 解散 | | | | | |
| 若松米穀石炭 | 45 | | 60 | 64 | 58 | 58 | — | | | 解散 | |
| 佐賀米穀 | 30 | | 89 | 83 | 80 | 65 | 49 | 37 | 36 | 121 | 117 |
| 熊本米穀 | 50 | 112 | 115 | 73 | 81 | 131 | 115 | 111 | 109 | 137 | 128 |
| 中津米穀 | 35 | 79 | 89 | 90 | 94 | 93 | 88 | 104 | 105 | 解散 | |

(4)

| 名 称 | 資本金 (千円) | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|-------|-------------|----|----|----|----|-----|----|-----|----|----|----|
| 大分米穀 | 30 | 40 | 55 | 54 | 70 | 73 | 62 | 61 | 54 | 28 | 28 |
| 鹿児島米穀 | 40 | | | | | 130 | — | 110 | 解散 | | |

備考。小谷「日本取引所法制史論」農商務統計(第11次—20次)により作成

- ・株式会社組織で米穀を取引物件とする取引所に限った。
- ・解散に任意解散と命令解散があるが区別しなかった。
- ・休業と記したのは解散年次が不明で休業中のもの。

第5表 年次別取引所仲買人数一覧(1)

| 地域 | 名 称 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|--------|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 北海道 | 小樽穀鯨肥料 | 17 | 11 | 6 | 17 | 12 | 9 | 14 | 13 | 7 | 7 |
| | 函館米穀塩海産物 | 14 | 8 | 8 | 9 | 27 | 7 | 8 | 6 | — | — |
| | 江差米穀鯨 | | 7 | 8 | 9 | 11 | 8 | 6 | 4 | — | — |
| 東北 | 青森米穀 | 9 | 9 | | | | | | | | |
| | 仙台米穀 | 13 | 10 | 12 | 15 | 13 | 7 | 14 | 11 | 12 | 8 |
| | 土崎米穀 | 7 | 6 | 4 | 7 | 6 | 7 | | | | |
| | 大曲米穀 | 5 | 9 | 7 | 7 | 6 | | | | | |
| | 秋田米穀 | 10 | 5 | | | | | | | | |
| | 本荘米穀 | | | | 10 | 9 | 7 | | | | |
| | 山形米穀生糸 | 18 | 10 | 10 | 14 | 9 | — | 5 | 4 | — | |
| | 米沢蚕糸絹米穀 | | | 6 | 4 | 3 | | | | | |
| | 酒田米穀 | 14 | 13 | 15 | 19 | 14 | 8 | 7 | 7 | 7 | 7 |
| | 鶴岡米穀 | | 15 | 11 | 13 | 14 | 9 | 6 | 8 | 8 | 8 |
| 若松米穀 | — | 7 | 3 | | | | | | | | |
| 福島蚕糸米穀 | 13 | 10 | 16 | 10 | 13 | 9 | 10 | 12 | 4 | 4 | |
| 関東 | 水戸米穀 | 16 | 7 | — | 10 | | | | | | |
| | 土浦米穀 | 8 | 5 | 4 | | | | | | | |
| | 宇都宮米穀 | 16 | — | 7 | 13 | 14 | 9 | 12 | | | |
| | 栃木米麻 | 15 | 7 | 9 | 12 | 13 | 11 | 14 | | | |
| | 高崎米穀 | 14 | 15 | — | | | | | | | |
| | 前橋米穀繭糸 | 15 | 13 | 14 | 10 | 14 | 5 | 7 | — | | |
| | 伊勢崎織物米穀 | | 9 | 9 | 3 | 4 | 4 | 6 | — | | |
| | 川越米穀 | | 4 | 15 | 15 | 9 | 5 | 5 | — | | |
| | 熊谷米穀 | 7 | 15 | — | | | | | | | |
| | 佐原米穀 | 9 | 5 | — | | | | | | | |

(2)

| 地域 | 名称 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|------|---------|-----|----|----|-----|-----|----|----|----|----|----|
| 関東 | 千葉米穀 | | 8 | 6 | 7 | 9 | — | | | | |
| | 東京米穀 | 100 | 78 | 76 | 100 | 82 | 56 | 60 | 52 | 53 | 57 |
| | 八王子米穀 | 13 | 5 | — | 16 | — | | | | | |
| | 横浜米穀 | 23 | 30 | 26 | 33 | 101 | 54 | 29 | 25 | 22 | 19 |
| | 小田原米穀 | | 10 | — | | | | | | | |
| 北陸 | 新潟米穀 | 50 | 50 | 48 | 47 | 38 | 28 | 24 | 24 | 24 | 22 |
| | 直江津米穀 | 14 | 12 | 11 | 10 | 10 | 9 | 12 | 10 | 9 | 6 |
| | 柏崎米穀 | | | | 8 | 7 | 6 | 7 | 7 | 6 | 7 |
| | 三條米穀 | 20 | 12 | 9 | 11 | 10 | 10 | 9 | 8 | 8 | 8 |
| | 地藏堂米穀 | | | | | 13 | 9 | 9 | — | | |
| | 五泉蚕糸米穀 | | | | | | 8 | 7 | 7 | — | |
| | 長岡米穀 | 20 | 16 | 15 | 21 | 18 | 15 | 16 | 12 | 12 | 12 |
| | 新発田蚕糸米穀 | | | | 1 | 18 | 8 | 5 | 3 | 2 | 1 |
| | 富山米穀肥料 | 29 | 20 | 24 | 24 | 13 | 8 | 8 | 10 | 4 | 6 |
| | 伏木肥料外二品 | 7 | 7 | 11 | 15 | 12 | — | | | | |
| | 高岡米穀 | 26 | 28 | 32 | 26 | 19 | 16 | 12 | 12 | 10 | 11 |
| | 金沢米穀 | 59 | 58 | 66 | 52 | 31 | 16 | 22 | 18 | 18 | 19 |
| | 七尾米穀 | 11 | 7 | 6 | 5 | 7 | — | | | | |
| | 敦賀米穀 | 7 | 7 | — | | | | | | | |
| | 福井絹糸米穀 | 17 | 21 | 11 | 10 | 6 | — | | | | |
| 三国米塩 | 16 | 19 | — | 18 | 12 | 8 | 7 | 7 | 9 | 9 | |
| 中部 | 甲府米穀 | 40 | | 7 | — | | | | | | |
| | 長野米穀 | 16 | 9 | 11 | 13 | 6 | 5 | 5 | 7 | — | — |
| | 松本米穀 | 13 | 7 | 5 | 7 | 5 | | | | | |
| | 上田繭糸米穀 | | 4 | 8 | 7 | 6 | 5 | — | | | |
| | 大垣米穀 | 12 | 12 | 13 | 14 | 11 | 7 | 8 | 7 | 5 | 7 |
| | 岐阜米糸 | 9 | 10 | 13 | 14 | 8 | 8 | 9 | 7 | 6 | 10 |
| | 静岡米穀 | 28 | 19 | 19 | 18 | 23 | 14 | 13 | 10 | — | 8 |
| | 浜松米穀 | 15 | 12 | 14 | 11 | 10 | 3 | 5 | — | | |
| | 掛川米穀製茶 | 11 | 10 | 9 | 8 | — | | | | | |
| | 沼津米塩 | | | | 16 | 13 | 7 | 14 | 10 | | |
| | 名古屋米穀 | 40 | 28 | 26 | 28 | 26 | 18 | 20 | 16 | 16 | 18 |
| | 岡崎米穀 | 15 | 12 | 16 | 14 | 15 | 11 | 11 | 10 | 8 | 10 |
| | 豊橋米麦 | 16 | 10 | 16 | 32 | 26 | 17 | 13 | 10 | 11 | 11 |
| | 一ノ宮米穀 | 10 | 10 | 14 | 18 | 13 | — | | | | |
| 半田米油 | 12 | 12 | 12 | 9 | 10 | — | | | | | |

(3)

| 地域 | 名称 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|--------|----------|----|-----|-----|----|----|----|----|----|----|----|
| 中部 | 西尾米穀 | | | | | 13 | 7 | 10 | 6 | — | |
| | 津島米穀 | | | | | 7 | 2 | — | | | |
| 近畿 | 桑名米穀 | 42 | 43 | 46 | 46 | 35 | 33 | 21 | 22 | 19 | 23 |
| | 津米穀 | 32 | 28 | 26 | 24 | 24 | 17 | 15 | 15 | 15 | 23 |
| | 四日市米油 | 38 | 24 | 20 | 23 | 26 | 28 | 23 | 19 | 18 | 24 |
| | 松坂米穀 | 18 | 8 | 7 | 8 | 8 | 5 | 5 | 5 | — | |
| | 上野米穀 | 14 | 13 | 9 | 7 | 8 | 7 | 6 | — | | |
| | 山田米穀 | 12 | 13 | 7 | — | | | | | | |
| | 近江米穀 | 42 | 38 | 37 | 40 | 35 | 24 | 26 | 25 | 19 | 21 |
| | 彦根米穀 | 15 | 15 | 11 | 12 | 10 | 10 | 15 | 13 | 12 | 12 |
| | 長浜生糸米穀 | 27 | 24 | 21 | 9 | 14 | 14 | 15 | 17 | 14 | 12 |
| | 水口米穀 | | | | 15 | 6 | 9 | 8 | 9 | 5 | — |
| | 京都米穀 | 27 | 25 | 31 | 29 | 17 | 19 | 32 | 22 | 22 | 15 |
| | 宮津米穀生糸縮緬 | 8 | 9 | — | | | | | | | |
| | 福知山米穀 | 12 | 10 | 13 | 14 | — | 12 | | | | |
| | 大阪堂島米穀 | 86 | 100 | 112 | 72 | 55 | 48 | 44 | 34 | 34 | 41 |
| | 堺米穀 | 9 | 7 | 17 | 31 | 19 | 13 | 16 | 10 | 9 | 6 |
| | 神戸米穀株式 | | | 36 | 37 | 30 | 26 | 29 | 24 | 24 | 25 |
| | 姫路米米 | 10 | 7 | 19 | 13 | 10 | 11 | 8 | 9 | 7 | 9 |
| | 赤穂米塩 | | 8 | 11 | 10 | 5 | 5 | 8 | 5 | — | |
| | 三田米穀 | | 10 | 11 | 9 | 7 | — | | | | |
| | 竜野米麵 | | | | 8 | 5 | 6 | 6 | 3 | | |
| 西宮米酒 | | | | | | 4 | — | | | | |
| 奈良米穀 | 14 | 8 | 8 | 20 | 16 | 8 | 18 | 11 | 5 | | |
| 大和米外三品 | 10 | 8 | 11 | 12 | 16 | 10 | 21 | 12 | 4 | 3 | |
| 和歌山米穀 | 13 | 11 | 16 | 16 | 10 | 8 | 14 | 12 | 8 | 6 | |
| 中国 | 米子米綿 | 11 | 10 | 8 | 6 | | | | | | |
| | 松江米穀 | 15 | 6 | 9 | 8 | | | | | | |
| | 岡山米穀繭株 | 26 | 25 | 29 | 22 | 21 | 15 | 15 | 15 | 13 | 13 |
| | 津山米穀 | | | 11 | 14 | 13 | 3 | 3 | — | | |
| | 西大寺米穀 | | | | 8 | 5 | 5 | 5 | — | | |
| | 尾道米塩肥料 | 17 | 11 | 6 | 6 | 6 | 5 | | | | |
| | 広島米綿 | | 21 | 31 | 28 | 21 | 22 | 24 | 21 | 19 | 18 |
| | 福山米綿 | 8 | 10 | 9 | 14 | | | | | | |
| | 赤間関米穀 | 20 | 20 | 22 | 23 | 20 | 25 | 28 | 26 | 21 | 23 |
| | 三田尻米塩 | | | | 17 | 15 | 12 | 10 | 7 | 7 | 7 |

(4)

| 地域 | 名称 | 27 | 28 | 29 | 30 | 31 | 32 | 33 | 34 | 35 | 36 |
|-------|--------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 中国 | 柳井津米塩 | | | | | 6 | 9 | 7 | 4 | — | |
| 四国 | 徳島米穀 | 13 | 12 | 11 | 13 | 9 | 8 | 6 | 7 | 8 | — |
| | 高松米外四品 | 14 | 12 | 51 | 6 | 6 | 3 | 5 | 8 | — | |
| | 坂出米塩 | 7 | 9 | 11 | 6 | — | | | | | |
| | 松山米穀 | 7 | 11 | 20 | 30 | 19 | 15 | 14 | 10 | 8 | 9 |
| | 今治米穀 | | 6 | 45 | 10 | 8 | 5 | 5 | 3 | — | |
| 九州 | 高知米穀 | | | | 11 | 8 | 3 | 5 | | | |
| 九州 | 博多米穀 | 13 | 15 | 18 | 17 | — | 23 | 20 | 14 | 12 | 8 |
| | 若津米穀 | 8 | 7 | — | | | | | | | |
| | 久留米米穀 | 10 | 7 | 11 | 15 | | | | | | |
| | 松若米穀石炭 | | | 8 | 11 | 8 | 7 | | | | |
| | 佐賀米穀 | | 12 | 10 | 10 | 13 | 23 | 18 | 14 | 15 | 20 |
| | 熊本米穀 | 24 | 27 | 20 | 30 | 42 | 35 | 34 | 26 | 15 | 12 |
| | 中津米穀 | 7 | 3 | 5 | 5 | 14 | 8 | 9 | 6 | — | |
| | 大分米穀 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 10 | 6 | 4 | 2 |
| 鹿児島米穀 | | | | | 20 | — | 9 | — | | | |

備考。小谷『日本取引所法制史論』・農商務統計（第11次—20次）により作成。

第6表 一株当たり利益配当 (単位円)

| 取引所名 | 21年後季 | 22年前季 | 22年後期 | 23年前期 |
|-------|----------------|--------------|-------|-------|
| 東京米商 | | 6.00 | 20.00 | 20.00 |
| 東京株式 | 27.00 | | 28.00 | |
| 大阪株式 | (46%) 23.00 | | | |
| 京都株式 | 17.00 | | | |
| 京都米商 | | | 10.00 | 18.00 |
| 名古屋米商 | 6.00 | | 21.50 | 18.75 |
| 新潟米商 | 3.50 | 年12% 6.00 | 12.50 | 15.00 |
| 酒田米商 | 3.50 | | 3.50 | 6.60 |
| 高岡米商 | 7.00 | | 12.00 | 13.50 |
| 赤間関米商 | | | 19.50 | 9.60 |
| 博多米商 | | 0.914 | 2.734 | 1.50 |

「堂島米商会日記」による。

く、常時20名以上かそれに近い人数を保持した取引所は新潟・四日市・近江・京都・神戸・赤間関、それについて高岡・金沢・名古屋・津・岡山など僅かに11カ所にすぎない。地方小取引所の中には、役員が相場取引を事とし、或は取引所の資金を濫用し、或は都市の就中、東京・大阪堂島の相場を標準として賭博的な取引を専とするもの、或は取引上に紛議をかもして法廷をわずらわすといった弊害が続出する取引所濫設時代が出現した。

やがて明治32年から36年にかけて、取引所の整理時代がはじまるが、この点については稿を改めて述べることにする。

4

さて本稿の終りに、わが大阪堂島米商会所は、「取引所法」の公布施行に際し如何に対応したかを見ておかなければならない。

「ブルース」問題が一応落着し、第1回目の向う3年の営業延期々間の期限が漸次近づいてきた明治23年9月5日、堂島米商会所においては臨時株主総会を開催し、営業延期の件、肝煎伊庭貞剛辞任ニツキ後任肝煎ノ件の二件を審議した。前件についての当日の堂島米商会所日記¹⁵⁾によれば、

臨時株主総集會、今午後3時開議。

営業延期願書案、及改良方案ヲ朗読シ、衆員ノ意見ヲ相尋タル処、一同原案ニ賛同シタリ、乃チ本案ノ審議ニ取掛リタルモ異議ナク、役員ノ意見ニ可決セリ、即チ決議ノ項目、左ノ如シ。

- 一、当米商会所営業ノ期限モ、最早前途僅カニ九ヶ月ヲ余スノミニシテ、已ニ満期ニ接スルヲ以テ、今般、頭取玉手弘通ヲ、株主一同ノ総代ト為シ、農商務省ニ出頭セシメ、或ハ営業上ニ関シ将来改正スヘキ意見書ヲ捧呈シ、又ハ営業ノ継続ヲ上願シ、或ハ営業延期ノ願書ヲ上呈スル等、臨機ノ取扱ヲ為ス事

と意見をとりまとめ、「ブルース条例」以来の取引所改良策の策定のすすめ

15) 「堂島米商会所日記」(5) p. 221.

られている段階において、その策定が実現して、新法が示された時には改正意見を添えて営業の継続若しくは更改しての設立申請をおこなう。若しそうでない場合には営業延期を出願すると両様の方策をもって、頭取の判断をもって臨機の対応を行うことを取り決め、玉手頭取が上京することとなった。

同月10日、在京頭取よりの電報¹⁶⁾——「メイジニジウヨネンヒチガツヨリ、ムコウサンケネンカン、エイギョウエンキ、ホンジツタダイマキキトドケラレタ、コノダンツウチス、タイケイ」——が、午後1時50分、堂島米商会所に届けられた。正式の請願允許は9月3日¹⁷⁾であった。ともあれ、制度の改変期にあたっての準備・対応には手ぬかりなく配慮し、一方では23年4月公布された「商法」に関しても、米商会所関係者の法制理解の一助として、23年10月3日から毎月3・8の日に、法学士砂川雄峻¹⁸⁾（弁護士、関西大学主席理事、1860—1933）、柿崎欽吾¹⁹⁾（弁護士、関西大学専務理事、1863—1924）を講師に招き、米商会所内で商法講義を開講した。ちなみに第1回講義には、仲人買中から67名、第2回（10月8日）76名、第4回（10月18日）51名、第5回（10月23日）41名、第6名（10月28日）49名の聴講者を数えることができる。このような制度の更改の時期にはそれなりに各種の準備や対応策を講ずる努力がなされた。

やがて26年3月、「取引所法」公布の時には、同法案一件で上京中であった玉手頭取が3月8日午後5時すぎに帰阪。直ちに北浜の静観楼において、「取引所法案衆議院通過ノ模様、及ビ貴族院ニ於テ拒障ノ議論起リ、配慮対策ノ模様等ヲ簡單ニ演説」²⁰⁾する報告会が開催された。

ついで3月27日に臨時株主総会を開催し、株主66名（持株数506株）の出席をえて、「取引所法」発布ニ依リ、米商会所の資本金の増加、その他営業継続に係る一切の件について審議し、原案どおり決議された²⁰⁾。即ち、

16), 17) 「堂島米商会所日記」(5) p. 223.

18) 『関西大学百年史』人物編, p. 131-137.

19) 同上 p. 138-142.

20) 「堂島米商会所日記」(5) p. 275.

21) 「堂島米商会所日記」(5) p. 278.

- 一、当会所ハ、従来ノ如ク株式組織ヲ以テ營業ヲ繼續シ、取引所法ニ従ヒ繼續ヲ出願スル事。
- 一、当会所現今ノ資本金ヲ倍加シ、更ニ拾五万円ト為シ、壹株百円、即チ総株数ヲ千五百株ト為ス事。
- 一、当会所有ノ諸公債及ビ財産等ハ、総テ価格ニ換算シ、現資本金額外ノ剰余金ハ、今回ノ増資ニ充ツル事。
- 一、当会所ノ増資高ハ、当所營業繼續出願書ニ、連署シタル現株主ノ負担ニ属シ、其所有数ニ応ジ、之ヲ割当ツル事。

但、右負担割合ヲ定ムル為メ、繼續出願ヨリ許可ヲ得ル迄ハ、当所株券名義書替ヲ停止スベシ。

- 一、当会所營業繼續ニ関スル従来ノ諸経費ハ、総テ現株主ニ於テ負担支出スル事ニ決定シ、尚、其支出ノ方法ハ、現任重役相談役及ビ株主浜崎永三郎氏等ノ協議ニ任スル事。
- 一、当会所營業繼續ニ関スル諸手續ハ、一切現任重役ニ一任スル事。
- 一、今回取引所法発布之際、現任頭取ノ尽力ヲ謝スル為メ、株主田中市兵衛氏ノ発議ニ依リ、株主一同ノ決議ヲ以テ、慰労金ヲ贈進スル事。但シ、其金額及ビ手續キ等ハ、相談役及ビ株主浜崎永三郎氏等ノ協議ニ任スル事。

さらに、7月13日午後1時より開催された株主定式総集會にひき続き、臨時株主総會を開催して、新取引所定款の草案を提出しこれを審議した。定款改正案は、頭取・肝煎・相談役及び株主仲買人の中から浜崎永三郎・齊藤嘉七・古門九右衛門・谷沢治郎平・二川鹿之助・荒木英一氏らによって構成される定款改正調査會に取調を委託し、同調査會においては、中之島銀水楼において、7月19、20、21日の3日間に亘って鋭意深重審議を重ねて改正定款を作成した²²⁾。

他方、7月17日には、農商務省商工局長より、「本年法律第五号取引所法ニ

22) 「堂島米商會所日記」(5) p. 296.

従ヒ、営業継続之願書ハ、本法付属法令ノ発布ヲ待ツヲ要セズ、ナルベク速カニ提出候方便宜」との内報をうけ、翌18日、「明治26年10月1日より明治36年9月30日まで満10カ年」の営業継続申請願書を大阪府を經由して農商務大臣に出願した。これに対し、7月31日付をもって営業継続出願が認可され、ここに株式会社大阪堂島米穀取引所が設立されることになった。

付記：本論文は1991年度関西大学学部共同研究費による研究成果の一部である。